

高山市の平和への取り組み

高山市は、平成22年5月に平和首長会議に加盟、平成25年9月に「高山市平和の日」を制定、平成26年9月に高山市平和のシンボル「平和への絆」を庁舎前に設置し、平和への取り組みを進めています。昭和35年のアメリカデンバー市との姉妹都市提携をはじめとした海外都市との交流、昭和41年制定の「高山市民憲章」や「高山市の歌」、昭和61年宣言の「国際観光都市宣言」においても平和につながる思いが込められています。

高山市平和の日 (平成25年9月)

市民一人ひとりが守り引き継ぐべき美しい郷土や平和の大切さについて考え、高山市が人類共通の願いである平和な世界の実現を国内外に訴えていくため、国際連合の「国際平和デー」である9月21日を「高山市平和の日」と制定しました。



「平和への絆」 (平成26年9月)

平和への願いを込め、広島・長崎への原爆投下日である8月6日・9日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である8月15日、市戦没者追悼式の日や市制施行記念日などに「平和への絆」の鉦を打ち鳴らしています。また、「高山市平和の日」であり、「国際平和デー」である9月21日には、国内外で鐘を所有されている各位のご賛同のもと、一斉鐘打を実施しています。鉦は、平日、どなたでも打ち鳴らしていただけます。

○受付:庁舎1階総合案内 (8:30~17:15)

コンセプトは、「絆」

- ・人と人の絆「ふれあい」・人と自然の絆「ぬくもり」
- ・都市と都市の絆「ひろがり」

高山市平和サミット (平成27年10月)

戦争被爆地であり、世界規模の平和活動をリードされている広島市長の松井一實氏と長崎市長の田上富久氏をお招きし、高山市長とともに「平和都市宣言」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。



左：広島市長 中央：長崎市長 右：高山市長

広島の被爆樹木二世の植樹 (平成28年6月)

「高山市平和サミット」の際、平和首長会議 (会長:広島市長) より頂戴した広島の被爆樹木二世のアオギリを、昭和児童公園 (ポップ公園) に植樹しました。この木は、被爆の惨禍に遭いながらも、焼け焦げた幹から再び芽吹き、広島市民に生きる勇気と希望を与え、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴えかけています。

